

静寂な世界に——音楽のエネルギーが解放される。

車と音と、音楽を愛するあなたへ。

この度、カーオーディオの音をさらに良いものにしたいという願望から、電源ケーブルを発売することになりました。その出発点となったのは「もったいない」という思いです。「直流電源もケーブルの方向性はプラス/マイナスとも同一方向が良い」それだけで音質が格段に向上する。それはやらねば「もったいない」ということです。「ケーブルの方向性」について既成概念を覆す提唱をしたい。そのためには方向性管理を徹底したケーブル、つまり見極めた銅芯線の方向性と、被膜の表示が確実に一致していると絶対に信頼でき、しかも音の良いケーブルが欲しい。その願望をかなえるためには「自ら造る」しかありませんでした。幸い、プロケーブルメーカー西大阪製線株式会社さんとのご縁があり、待望のカーオーディオ用電源ケーブルNMシリーズは誕生しました。NMシリーズの特長をひとこと言うなら、ダイレクト・ストレート感です。余分な音を加えません。一部の周波数帯域へのエネルギー集中や、全帯域でスピード感の乱れが無い、自然体のフラットエネルギー・タイミングバランスです。ぜひ、あなたにもご体験いただきたいと思います。

より多くの人とこの素晴らしい世界を共有したい — マインズカンパニー代表 坂本範雄

ピュアな無酸素銅の芯線から「極上」のケーブルを。

「音質が良く、信頼できるケーブル」を求めた時、その出発点はやはり素材でした。「良質な素材から最適な仕様にあくまで耳で聴きこんで仕上げる」言ってしまうとありきたりですが、それを自分が納得できるまで徹底する以外、近道などありません。一般的に、細い線径の芯線は、高域は比較的繊細に、低域は緩く膨らむが量感はあるという傾向があります。逆に、太い線径の場合は低域は骨太でタイトに締まるが量感は少なく、高域は明快ながらややナローになりやすいと言えます。どう「良いとこ取り」するか、です。またコストを掛ければハイスペックはいくらでも可能です。しかしそ

のために高額な商品にしたくありません。今回まず芯線素材を検討するに当たり「安定した性能・高度な品質・信頼できる生産技術」を基準としました。そうして、0.18φの無酸素銅線をツイスト状に撚り合わせることで、導体の基本構成と構造を決定。最終的に、徹底した試聴による確認と検討を重ねて追い込んでいます。



被覆前の NM-400

導体と相性抜群の被膜採用！

被膜素材の選択、そしてその構造も、たいへん重要なファクターです。そのあり方によっても音質は大きく変わります。この素材選びと構造設計についても、私自身のこれまでの経験はもちろん、西大阪製線株式会社さんの技術とマテリアルを存分に活かして試聴と検討を重ねました。その結果、最終的に導体と抜群に相性の良い被膜素材にも恵まれ、究極のシンプル構造の採用と相まって納得できる音質を得ることができました。

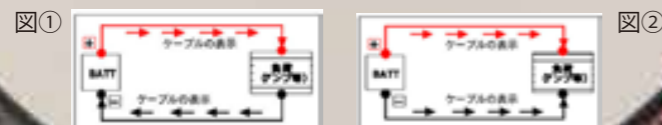
コラボレーションパートナー **N-SKILL**

今回、ご縁があってコラボレーションが実現した「西大阪製線株式会社」さん。電源ケーブルNMシリーズは、その「N-SKILL」ブランドによる製品として世に出る事となりました。細かくて無理無体な私の要望に、60年を超える歴史に培われた技術とノウハウを惜しみなく投入して応えて頂くという、タイトなコラボレーションからNMシリーズは誕生しました。深い感謝の気持ちと愛情を込めて、みなさまの元へ送り出したいと思います。

常識？ 思い込み！

それはある日の、既成概念をくつがえす発見から。

ある日、とあるアンプの試聴をしているときでした。いつものように下図①の通りに結線して試聴をしていました。このとき何かふと「電源ケーブルの方向性を確認してみよう」と頭に浮かんだのです。そして、下図②のように、マイナス線を逆向きに結線し直してみたところ、この方がスピード感、勢いが断然良いのです。ボーカルなどがぜん生き生きしているではありませんか！「何だこれは！！」ケーブルの印刷ミスか？まさかと思いつつ、念のため同じプラス線をもう1本用意し、マイナス側も結線してみました。その結果は・・・変わりません。さらに、日を変えても、機器を変えても、結果は同じだったのです。私は確信せざるを得ませんでした。「交流と同様直流でも、プラスもマイナスも同じ方向の方が音が良い」と。そして、このことを「良い音」を求める人、音楽を楽しみたい人へ向けて、勇気を出してご提唱することにしたのです。すぐ、かんたんにできる音質向上方法です、ぜひ活用を！



方向性の真実

徹底！ 信頼性！

「方向性」を活かす。

賛否、あるかもしれません。しかし、きちんと管理された工程で製造されたケーブルには、音楽エネルギーが流れやすく、損なわれにくい「方向性」が間違いなくあります。残念ながらその理由は不明ですが結線のある方向にした時に得られる音楽の伝達量、スピード感が、逆にすると損なわれる現象は確かに起こります。しかも、先述の通り、私は結線の方向のあり方について、従来の概念とは異なる現象を発見しました。それ以来、「ケーブルの方向性」について、カーオーディオご愛好のみならずどうしてもご提案したいと思い続けたことが今回NMシリーズ開発のきっかけともなりました。断言します。電流がプラスから出てマイナスに戻る事と、音楽信号がケーブル内をハイクオリティで流れる方向性とは別物で

どの1本にも、確実な信頼性を。

NMシリーズでは、方向性の管理を全ロットに徹底して行なっています。①まず方向性管理を徹底して芯線を製作。②被膜する前の芯線に対して、繰り返しの試聴でその方向性を最終確認。③確認した方向性を間違えないように被膜を被せる。④被せると同時に商品名などのスペックと併せて矢印をプリント。その際、マスターロールからの引き出しに連続して印刷し、途中でインクの色をプラス線色からマイナス線色に切り替えます。これにより被膜にプリントされる矢印の方向はプラス線とマイナス線が物理的に一致します。

THIS WAY

絶対の条件！

守っていただきたいお約束事が。

ただし、ケーブルの方向性管理は、すべての結線において同じ考え方でしていただくことが必須です。つまりヘッド、プロセッサ、アンプ全て同じルールで配線するということが、一部だけするならば、むしろやらない方が良い。互いに主張し合ってしまう、良いところを打ち消しあいます。システム全体で統一することで初めて最大効果が得られます。

<NM-400 仕様>

導体面積	22sq (4AWG 相当)
ケーブル外形	約 10mm (直径)
被膜耐熱温度	105℃
リール長	30m
ジャケットカラー	黒 (プラス/マイナス 専用線印字有り)
標準小売価格	8,800 円 / 1m (税別)

<NM-800 仕様>

導体面積	8sq (8AWG 相当)
ケーブル外形	約 6.5mm (直径)
被膜耐熱温度	105℃
リール長	30m
ジャケットカラー	黒 (プラス/マイナス 専用線印字有り)
標準小売価格	4,800 円 / 1m (税別)